

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	19_山梨県
市区町村名	19201甲府市
自治体区分	中核市

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
19201甲府市	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	社会に開かれた教育課程の役割が期待される中、教育課程の実施に当たっては、地域の人的、物的資源の活用や、放課後の社会教育との連携等が必要であるが、現状は地域社会の教育力の低下により、社会と共有・連携しながら実現することに課題がある。	・放課後や週末等に安全安心な子どもの活動拠点を設け、地域で学習、スポーツ等による交流機会を提供する。 ・小学校区ごとに地域の団体へ放課後子供教室の運営を委託し、地域住民の参画を得て、子どもの体験交流活動を支援する。	令和6年度は新たに校内交流型教室を増やした。事情により中止した回があったが、おおむね予定どおりの開催ができた。令和7年度は新たに教室を開設し、コーディネーター及び協働活動支援員を中心に、地域住民と学校との連携協力体制の整備を進める。	より安全で教育的な学びの体験活動の場を提供することにより、児童の興味・関心の幅が広がり、健全な成長につながる。	放課後や週末に、多彩なプログラムを提供する放課後子供教室を開催した日数	380	回	500	384	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 安全で教育的な体験活動の場として、放課後子供教室を提供することができた。 地域住民が主体となって計画・実施される教室は週末や休日開催されることが多く、その都度募集しているのでも子供や家庭の参加意欲も高い。平日の放課後に行う教室は学校行事との兼ね合いもあるため、開催日数を増やすことが難しかった。実施回数を増やすためにも、学校と綿密に打ち合わせをし、実施計画を立てる必要がある。	https://www.city.kofu.yamanashi.jp/ikigai/houkagokodomokyoushitsu.html
19201甲府市	②学校と地域の課題	02 青少年の健全育成	地域行事への参加や地域の施設・遊び場の減少により、地域住民や子ども同士の関りが希薄になっている。また、放課後や週末を家で過ごす児童が増えている。このような現状の中、地域社会の大人に地域の子どもの成長に関心を持たせたり、地域住民と児童とのかわりを深めることに課題がある。	各小学校区に放課後子供教室を設置し、放課後や週末を利用して地域住民が企画・運営する活動を定期的に行い、子どもの学習・体験交流活動を支援する。	令和6年度においては地域住民が講師となるプログラムを多く実施することができた。令和7年度においても引き続き、地域住民が企画・運営する体験交流活動を実施し、児童と地域住民との交流が深まるプログラムの開発を行う。	放課後子供教室を地域住民が開催し、児童の放課後の居場所づくりを進めることで、地域住民との交流が深まり、地域で活動する児童が増える。	放課後子供教室に参加した児童数	6650	人	7500	5942	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 平日の放課後に計画された子供教室の開催日には、登録した子供たちが全員参加するので、その教室の目標は達成された。 週末に計画された子供教室は、学校を通して募集案内を子どもたちに配布したが、参加する子どもたちの数が当日にならないと分からない面も見られた。また、内容によって、参加者の人数が大きく差があったことから、内容についても精査する必要がある。	https://www.city.kofu.yamanashi.jp/ikigai/houkagokodomokyoushitsu.html
19201甲府市	③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	学校以外で学習を主体的に行う習慣がない子どもが増えている中、学校の授業以外で学習を行うことに対する指導等が学校・家庭の共通の課題となっている。	学校の空き教室を利用し、放課後や週末に宿題や、わからないことを解決するために、地域住民がサポーターとなって学習支援や見守りを行う。	児童が会場に到着してから体験活動プログラム開始までの時間を活用して学習支援を実施している。限られた活動時間の中で学習時間を捻出してきたが、今後さらに放課後子供教室と学校側とで時間調整を行い、学習支援の時間の充実に努める。	学校以外で、学習指導を実施する機会の提供により、児童の主体性や自主性が育まれる。	放課後子供教室で学習支援を実施する日数	150	回	180	188	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 子供教室が開催される日には、毎回最初に学習活動を行い、その後体験活動を行うので、目標日数は達成することができた。また、教室のサポーターの方々が学習支援や見守りを熱心に行った。 子供教室で、教室に着いてすぐに学習を行うことが、子供教室がないときにも、帰宅後、学習を行うといった習慣化につながることができた。	https://www.city.kofu.yamanashi.jp/ikigai/houkagokodomokyoushitsu.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。